

親子が元気になる家庭教育支援

清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」

《チーム MOMO の紹介》

平成 20 年度に、文部科学省からモデル事業の委託を受け、桃栄小学校を拠点とした家庭教育支援チーム「チーム MOMO」を結成する。メンバーは、愛知県子育てネットワークであり、学校評議委員・スポーツ推進委員・保育サポーター・母子保健推進員等で活動を続ける。

〈ねらい〉

子育てや家庭教育の相談に応じる。親子での様々な取り組みや、研修会など学習の機会を提供することで、親子の学びや育ちを支援する。

〈あゆみ〉

平成 20 年・21 年度 文部科学省委託事業
 平成 22 年・23 年度 愛知県教育委員会生涯学習課委託事業
 平成 24 年度 全国家庭教育支援研修会（文科省）参加 活動内容発表
 平成 25 年度 「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム」事業
 文部科学省委託事業 “清須フェスタ” 実施
 平成 26 年～ 清須市生涯学習課委託事業 “親子が元気になる家庭教育支援”

〈令和 5 年度活動内容〉

行事	ねらいと内容	地区
MOMO の部屋 (桃栄小学校視聴覚準備室)	保護者の相談に応じる。休み時間に、伝承あそび等を通して児童と交流をする。	桃栄小学校
小学校 PTA 総会時の支援	保護者の方が PTA 総会及び学年(学級)懇談会に参加している間、児童を預かる。	新川小学校 他 1 校
ふれあいサロン	懇談会(7月・12月)の期間中、保護者が懇談をする間児童を預かる。保護者の方の相談と交流を図る。	桃栄小学校
「親の学び」家庭教育研修会	参加者同士意見交換等する中、自分の子育てを振り返り、親としてのあり方や子どもとの接し方等について考える。	星の宮小学校 他 3 校
入学説明会	新 1 年生の保護者に、家庭における心得について、お話しをする。	新川小学校 他 2 校
中学生と赤ちゃんのふれあい交流会	中学生が、赤ちゃんやその保護者とふれあい交流をする中で、「いのちの大切さ」について学ぶ機会を提供する。	新川中学校
読み聞かせ	読み聞かせを通して児童と交流する。	桃栄小学校他
地域の子育て・孫育て応援講座	祖父母世代だからこそできる子育て支援について、子育て中の親との、よりよい関わり方を考える研修会を行う。	清須市全地区

※桃栄小学校の行事に参加協力

※新川中学校の挨拶運動に参加

清須市生涯学習課委託事業『清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」』報告

【報告 1】「親の学び」家庭教育研修会－ワークショップ－

1. 事業のテーマ

- ・家族・家庭を振り返る

2. 事業のねらい

- ・家族・家庭のあり方をしてきたつもりになっていないか、立ち止まり振り返ってみる。
- ・グループで意見交換することで、広い視野に立ち自分なりの気づきを得る学習の機会とする。

3. 事業の概要

- (1) 日時・場所 9月14日(木) 11時～正午 桃栄小学校視聴覚室
- (2) 参加者 桃栄小学校 PTA 20名
- (3) 講師 清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」

4. 参加者の振り返りシートより (一部)

- ・家での子どもの声かけ向き合いが、とても大切だと感じる内容でした。なかなかスキンシップしないので、これから恥ずかしくがらずにやってみようと思います。
- ・学年が上がるにつれて、コミュニケーションが減っていると感じていたので、温かい言葉を会話の中で増やしていけたらなあと思いました。
- ・自分に余裕がなく「したつもり」になっている部分がありました。
- ・なかなか普段、自分の事を振り返る機会がないのでいろいろと気づきになりました。
- ・子どものことをみているつもりで、実は日々の生活に追われて見逃していることがたくさんあることに気づきました。もっと子どもに寄り添ってみようと思えました。
- ・このように家族や家庭について振り返る機会が、私たちには必要だなあと思います。
- ・子どもに伝えていると思っていただけ、心がこもってなかったのかなと思いました。毎日どうしたら子どものためになるか考えています。
- ・わかっても出来ていない事を改めて言葉にすると、ポイントが明確になるよいテーマでした。
- ・普段、忙しかったりして忘れていたことを思い出させてもらいました。他の人の意見も聞けておもしろかったです。
- ・いつも忙しく「早く、早く」とせかすことが多いので、自分を見つめ直すことができました。家庭で子どもたちにたくさん言葉をかけてあげたいです。
- ・今までの子育ての振り返りがゆっくりとできました。子どもに対して優しく接しようと思います。
- ・同じママ達の、率直で実体験の話が聞けて良かった。
- ・言葉の力のすばらしさ、言葉の力の強さに、改めて気付くことができました。
- ・自分の子どもにかける言葉、あまり考えた事がないので考えようと思った。

5. 成果

初めは、皆さん緊張気味に感じましたが、時間の経過とともに緊張が解れ、和やかな雰囲気の中で、ワークを進めることができました。

「子どもにかけてあげたいことば」のワークでは、日頃の生活の中で親として大切にしている“子どもへの思い”について熱心に話され、その話に真剣に耳を傾けている皆さんの姿が心に残りました。

振り返りシートに、自分自身を見直し、自分の子育てを振り返るきっかけになったこと、また、他の方の話を聞くことで参考となり、あらたな「気づき」につながったことなどが多く記されていたので、参加者のワークに対する向き合い方に熱心さを感じ、今回のテーマの「ねらい」に繋がったと感じました。

【報告2】中学生と赤ちゃんのふれあい交流会

1. 事業のねらい

中学生が、お父さんお母さん方や保健師さんからお話を聞き、また、赤ちゃんのぬくもりや重みを直接肌で感じることで、自らを振り返り「いのちの大切さ」を学びとる機会とする。

2. 事業の概要

- (1) 日時・場所 11月4日(土) 10時～11時30分 新川ふれあい防災センター 和室
- (2) 参加者 清須市立新川中学校3年生10名
親子4組(乳幼児3ヶ月～10ヶ月) 母4名父1名 託児5名
- (3) 講師 清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」
清須市保健師 渡部裕美子氏
- (4) 内容 保健師さんのおはなし・お母さんへインタビュー・中学生とお母さんお父さんの交流
中学生と赤ちゃんのふれあい交流

3. お父さん・お母さんの振り返りシートより (一部)

- ・中学生が真剣に話を聞いてくれたり、質問してくれて嬉しかった。実際に親になった時にどうしたらいいのか知りたいと思えるような質問をしてくれて、中学生のうちから親になった時のことを考えることができていてすごいと感じた。
- ・積極的に質問してくれたので参加して良かった。優しく接してくれて心強かった。中学生からの質問が、この年代がどんなことが気になるのか分かった。改めて、子どもの大切さに気付く良い機会でした。
- ・普段の生活で、中学生と交流することがないので、とても良い体験ができました。中学生さんたちみんな赤ちゃんが大スキなようで、子どもたちも楽しく過ごせました。中学生の本音も聞けて今後の参考になりました。

4. 中学生の振り返りシートより (一部)

- ・やっぱり赤ちゃんはかわいいと思った。なかなか親から本音を聞くことはできないので、本音を聞いてとてもよかった。
- ・無邪気でとてもかわいかったです。すぐに泣いてしまう子も、お母さんが抱っこするとすぐに泣きやんで、お母さんのすごさがわかりました。1時間半で疲れたのに、3年間も育児をする親がどれだけたいへんなのかを詳しく知ることができました。
- ・10歳下の弟がいるので、すごくなつかしいなと思いました。親になって、苦しかったことやうれしかったことなど、普段聞くことのできない貴重なお話をたくさん聞くことができ、本当に良かったなと思いました。
- ・「いのち」について考えることが全然なかったので、このように、いのちの大切さについて、学ぶことができて良かった。今、生きることが本当にすごい奇跡なんだなと思い、今まで以上に自分の命を大切にしようと思った。
- ・今の自分がいることへの感謝を忘れない、忘れたくないです。
- ・あんなに小さなところからはじまって、こんなに大きくなれたのにびっくりして、私を育ててくれた親にも感謝があふれてきました。今を大切に生きたいです。

5. 成果

保健師さんの「いのちの奇跡」「心と身体の健康」「自己肯定感」のお話では、生徒さんたちは静かに耳を傾け、その思いもしっかりと受け止めたように感じとれました。聴診器で聴いた「心音」や赤ちゃんの抱っこ体験で感じたぬくもりや重みは、「いのちの大切さ」を実感する機会になったと思いました。自分を育ててくれた両親への感謝の気持ちと共に、改めて「いのち」について考えるきっかけになったことと、「いのちの大切さ」に気づいたと感じました。

【報告3】地域の子育て・孫育て応援講座

1. 事業のねらい

子育て世代の関わりの中で、思わぬすれ違いをしていないか、お互いの幸せのためにはどうしたらよいか学びの中で「気づき」を得る。

2. 事業の概要

- (1) 日時・場所 10月4日(水) 10時～11時30分 清洲市民センター 集会室
- (2) 参加者 祖父母世代25名
- (3) 講師 清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」
- (4) 内容 事前に小学5,6年生の保護者(84名)を対象に「祖父母世代とのかかわり方について」のアンケート調査を実施した、その中に記載された25名のエピソードを参考に、思わぬすれ違いを防ぐために大切な事をグループで考える。

3. 参加者の振り返りシートより (一部)

- ・今の時代の子育ては、私たちの時と違っています。現在の生活に合わせて、とにかくお互いをよく知り話し合う事が大切だと思います。むずかしいですが、それが皆の幸せとなると。
- ・こちらが良かれと思って発した言葉や行動により、あとから問題が起きてしまうのだなあと思いました。相手の立場になって、よく話し合うことの大切さが重要とあらためて、実感した講座でした。
- ・大変楽しい時でした。少し息子家族と問題がある中参考に出来、実践できることがありました。みなさんの発表される姿など素晴らしいです。その方々とご一緒できてうれしかったです。
- ・嫁、姑の問題は令和になっても変わらないのか!とまず思った。お互いに人格を尊重したいと改めて思った。
- ・みなさんの考えを知ることができて、自分の事に置き換えてみたいと思いました。
- ・嫁・姑の問題は令和になっても変わらないなか!とまず思った。お互いに人格を尊重したいと改めて思った。
- ・面白い企画ですね、アンケート内容を読んでも、相手の立場がわかることもあり、反省する点も生まれました。また次の機会がありましたら、よろしく願いいたします。
- ・今日は和やかで楽しい時間でした。孫も可愛く思うのでつい言うってしまう言葉がお嫁さんにとって気になってしまう事があったと思います。日頃のコミュニケーションが必要だなと思いました。
- ・みなさんの考え方や意見が聞けて本当に良い時間でした。自分だけで考えず、口に出して話すことで一歩前進できるような気がします。
- ・いろいろな家族構成の方々、年代の異なる方々のお話、お考え、また、問題提起の絶妙さに触れることが出来、大変実り多い時間を過ごさせていただきました。

4. 成果

ワークでは、子育て世代とよりよい関係を築くために、日頃心がけていることや大切にしたいと思っていることなど、話し合いがなされました。その中で多くの「気づき」が得られたと、振り返りシートからも感じました。

各グループの発表のタイトルも、「すてきなばあばになろう～いつも応援しているよ～」 「すくすく育て!見守り隊」 「我慢の時代～にくいスマホ～」 「親切とおせっかいのむずかしさ」と付けられて、思いの言葉が付箋に書かれ、みなさんの熱い思いを感じました。

講座の様子とアンケートから、「地域で子育て応援」に、一歩近づけたと思いました。次年度も引き続き、「地域の子育て・孫育て応援講座」を設け、より充実した内容で企画したいと考えています。